

NEWS RELEASE

2025年2月14日
日本板硝子株式会社

CDP より 2 年連続で「気候変動 A-」評価を取得

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：細沼 宗浩、以下「NSG」）は、このたび環境影響の情報開示に国際的に取り組む非政府組織（NGO）である CDP*から、気候変動に対する取り組みや情報開示が優れた企業として、「気候変動 A-（A マイナス）」評価を取得しましたのでお知らせします。

NSG グループは、2011 年以降継続して CDP の気候変動および水に関する開示を行っていますが、2024 年の気候変動に関するスコアは、前年に引き続き「A-」ランク（リーダーシップレベル）を取得できました。これは、当社グループの気候変動への継続的かつ積極的な取り組みと透明な情報開示を評価いただいた結果であると考えています。

NSG グループは 2030 年までに温室効果ガス排出量を 2018 年比で 30%削減する目標を設定し、SBT イニシアティブ（SBTi）に認定されています。あわせて 2050 年までにカーボンニュートラルを達成することを目指しています。

この目標達成に向けた様々な取り組みを通じ、事業の脱炭素に向けた活動を加速させ、サステナブルな社会の実現に努めてまいります。



以上

（※）CDP は、英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。

（※）SBTi（Science Based Targets initiative）：

CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）及び WWF（世界自然保護基金）による共同イニシアティブで、気候変動リスクの低減に向けて企業に対し、科学的知見と整合した温室効果ガス削減目標の設定を推進しています。

NSG グループのサステナビリティ活動指針について

<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability>



NSGグループ（日本板硝子株式会社およびそのグループ会社）について

NSGグループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。

建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズ、タイミングベルトの補強材であるグラスコードを中心とした特殊ガラス繊維やガラスフレック、およびファインガラスです。 <https://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ>

(報道関係等) 広報部 (お問合せページ) <https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>